

行政サービスの提供」に基づき、行財政運営を行ってまいります。

近年、少子高齢化の進行や世帯構成の変化等により、複雑多様化する福祉行政へのニーズに対応するため、福祉部門の専門職の育成及び配置が求められています。今後ますます増大する福祉サービス等のニーズを的確に把握し、質の高い行政サービスの提供を確保する観点から、石垣市人材育成基本方針に基づき、市職員を対象としたキャリアアップの一環として福祉関係の資格取得に係る経費の一部補助を行うなど、変わることをおそれない人材の育成を積極的に推進してまいります。

6. 予算編成と予算規模

令和5年度の当初予算の編成にあたりましては、新型コロナウイルスや世界的な物価高騰への対応など、社会情勢が大きく変化する中において、将来を見据えた健全な財政を維持するため、限られた財源を効率的かつ効果的に配分した予算編成を行いました。

一般会計につきましては、前年度と比較しますと、歳入におきましては、自主財源の柱である市税が持ち

直しの動きが見られており、地方交付税につきましては、約2億5900万円の増額を見込んでおります。歳入におきましては、高齢化の進展に伴う社会保障関係経費をはじめとする義務的経費の増加や、クリーンセンター基幹改良工事及び旧庁舎解体工事などの大型事業を予定しております。

令和5年度一般会計の歳入歳出の総額は、349億5734万円で令和4年度当初比6・7%の増となっております。主な内訳といたしましては、総務費44億7445万円、民生費128億7333万円、衛生費48億812万円、農林水産業費30億5438万円、商工費2億8354万円、土木費35億6822万円、消防費9億9176万円、教育費27億6927万円などとなっております。

特別会計及び公営企業会計の歳出総額は、181億810万円で前年度比3・3%の増となっております。

むすびに

令和5年4月に、本市に新たなインターネット通信制の高校が開校いたします。島の内外を問わず、どこにいても教育が受けられるため、子ども

たちの進学先の選択肢が大きく広がります。また、高校卒業資格取得に加え、医療分野進学を目指すカリキュラム等も予定しており、本市で不足する分野の人材育成が可能となることに加え、スクーリングを目的とした来島者による新たな人の流れも期待しているところです。

長期間に及んだコロナ禍が明ける令和5年度は、地域経済復活へのリスタートの年であり、また、DXの推進や脱炭素社会に向けた取組となるGX（グリーン・トランスフォーメーション）など、新たな課題への対応が求められる重要な年でもあります。本市では、これまでのコロナ禍においてもアフターコロナを見据え、南ぬ島石垣空港国際線ターミナルの拡張やクルーズ船用ターミナル施設整備に向けた実施設計、また、ゴルフ場付きリゾート施設の整備に向けた手続きなど、一つひとつ着実に進めてまいりました。

そしていよいよ、市制初の人口5万人時代に突入してまいります。地域経済の復活やデジタル化の推進、持続可能な社会づくりなど様々な課題がございますが、令和5年度も市民の福祉向上と本市が抱える課題の解消に努め、そして令和5年度は、「躍動」、「飛躍」の年度とすべく、「日本一幸

せあふれるまち石垣市」の実現に向け、職員一丸となつて、攻めの姿勢で取り組んでまいります。

市民の皆様をはじめ、議員各位のご理解とご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。私の令和5年度の施政方針とさせていただきます。

市民課からのお知らせ

【問合せ】市役所市民課 ☎0980-82-1260

3月末から4月初めは窓口が大変混雑します。混雑解消のため、特に4月7日（金）までの間は、不急の来庁は控えていただき、**住民票や戸籍証明などはコンビニ交付サービスや郵送請求など**をご利用ください。また、異動届けにつきましては、**マイナポータルサイトからマイナンバーカードを利用してオンラインによる転出届**ができますので、ご利用ください。

【休日臨時窓口について】

◆ **4月1日（土）2日（日）に転入転出手続きの休日臨時窓口**
《一部手続きを除く》を開設いたします。住所の異動に伴う各種届出や証明書発行などを行いますので、ご利用ください。

